

青葉化成株式会社



代表取締役社長
石田 一 氏

●企業の概要

企 業 名：青葉化成株式会社
代 表 者：代表取締役社長 石田 一
住 所：宮城県仙台市若林区卸町1丁目
5-6
設 立 年：1956年
業 種：食品用資材卸売業
資 本 金：40百万円
従業員数：160名

●事業の概要

当社は食品分野をメインとした卸売業であり、食品製造に必要な様々な資材を取り扱っているほか、メーカーとして食品添加物を中心に製造開発も行っている。東北大学との共同開発により非常にユニークな形状の食用粉末魚油を開発し、これまで摂取手段が少なかったDHA等の優れた栄養素を様々な食品への配合が可能となる「JENO-3®」を製品化した。



本社



研究所内

食のテクニカルコンサルタントとして食品の開発に取り組み、DHAを簡単に摂取できる食用粉末魚油を開発



「JENO-3®」



凍結乾燥機



研究の様子

●受賞の理由

当社は食のテクニカルコンサルタントとして、かねてから当社独自性の強い製品を開発したいという思いがあり、今回「JENO-3®」の製品化に至った。

厚生労働省が毎日の摂取を推奨するDHAは、これまでソフトカプセルでの摂取が一般的で、子供や高齢者を中心に飲み込む際の負荷から飲用を敬遠されており、DHAを含む一般的な粉末魚油も、その耐水性の弱さから食品への加工が困難とされてきた。

当社が製品化した「JENO-3®」は、魚油のコーティングに酵素架橋ゼラチンを使用し、独自の調製法によりマイクロカプセル化（粉末化）することで、耐水性・耐熱性を保持し、優れた酸化安定性と生体内吸収性を実現した。様々な食品への配合が容易であるため、誰でも手軽にDHAを摂取できる食品開発が可能となり、人々の健康促進に貢献することが期待されるなど、新事業としての成長が期待される。

現在当製品は、県内企業でも既に採用が決まっているなど、メーカー向けの業務用食品として販売実績がある。一方で、産学官金連携フェア等に出展した際には、「食事としてDHAを与えたい」というニーズを捕捉し、家庭や栄養士向けの市場に対して一般向けの販売も検討するなど、新たな市場に対する積極的な取り組みも評価は高い。

また当製品に利用されている「マイクロカプセル化技術」は、他の成分での応用も可能であり、三陸沖の海鞘からプラズマローゲン（認知症改善効果が期待される成分）を抽出し粉末化も検討しているほか、宮城県内の水産加工残滓から肝油を抽出・粉末化を検討しているなど、未利用資源に高付加価値をつけ、東北ブランドを創出することで地域活性化に繋げたいという姿勢も高く評価された。

当社がこれまで培ってきた技術と開発力を活かした本事業は、同業他社に比べ優位性は高く、その新市場開拓への取り組みからも、今後更なる成長が期待できる。